



田植時の注意点

近年、温暖化により生育過剰となる圃場が多く見受けられます。過繁茂にならないように、初期の生育を抑えることが重要であり、その為には細植と適正な栽植密度の実践が肝心です。地力があり、毎年過繁茂の圃場では今年の稲作から株数を一段さげ、たくましい稲を作り、品質向上をめざしましょう。

① 1株あたりの植付本数は3本程度

② 田植の時の水深は1〜3cm

③ 余剰苗はいもち病の原因となるので速やかに処分してください。

除草剤の仕組みと水管理

水田除草剤は、溶けだした有効成分が数日かけて土壌表面に薄い除草剤の層（処理層）を作り、この処理層に雑草の芽などが触れることによって除草効果を発揮します。（図1）処理層は少しずつ分解されいずれば除草効果がなくなりますが、できるだけ処理層を長持ちさせるよう、また有効成分が流出しないようなような水管理をおこないます。



図1 除草剤効果の仕組み



3〜4日かけて土壌表面に吸着し、除草剤処理層を作ります。

※補植をする場合は除草剤処理前に!! (処理層が壊れてしまいます)

- 除草剤散布後、1週間は原則として田面が露出しても入水・落水はしない。
- 処理層を壊さないように圃場に入らない。
- 田面の露出がないように水をしっかりと張り、水口と水尻を閉じる。
- 除草剤を散布する時は、苗を水没させない範囲で水深を5cm以上に保つ。

田植後の水管理について

本田から流出する濁水が環境負荷の要因となりますので、水尻や畦畔からの漏水防止を努めるとともに、代かきは浅水でおこない、田植前の強制落水は控えましょう。

田植後、苗が活着するまでは、寒さや風から苗を守るためやや深水（水深約5cm程度で稲が沈没しない程度）の湛水状態を保ちましょう。

琵琶湖にやさしい農業の実践をしましょう!



病害虫防除

移植前の育苗箱に施用することにより、病気や害虫が長期にわたり予防できます。イネミズゾウムシの食害により初期生育が遅れる水田やニカメイチュウの被害が多い圃場、また、いもち病が毎年発生する圃場では箱施用薬により予防することが必要です。



実肥の施用

小麦の品質評価基準を満たすためには、実肥の確実な施用をおこなうことが重要です。実肥を施用することによって、タンパク含量や容積重が向上するのが明らかのため、収量や等級、評価の向上のためにも、必ず施肥してください。施用時期は4月中旬〜下旬の開花期（出穂の10日後）で施用量は下記の表1のとおりです。施用する肥料により調整してください。

表1

使用肥料	施肥量
PKセーブエコ	30kg/10a
尿素	10kg/10a

排水対策

排水不良は根の伸長が不十分となり、登熟期までに影響が及び、収量および品質低下を引き起こします。特に溝にたまったままの状態にならないように、溝さらえを行なうなど、収穫前までに徹底した排水対策を講じるようにしましょう。



野菜づくり

今月は
栄養たっぷり
サトイモ作り

芽出し

サトイモは、植え付けする約1ヶ月前に種イモの芽出しをします。ポットに土を入れ、種イモの芽が出る方を上にして、深さ12cm程度の植え穴をあけて植え付けます。植え付けたら、水をたっぷりと与え日当たりのよい場所に置くようにします。水は、1度与えたら発芽するまでは与えないようにします。

植え付け

芽出しをしてから、約1ヶ月で発芽するので植え付けていきます。うね幅60cm、株間35cmに深さ12cm程度の植え穴をあけて、種イモの芽を上に向けて植え付けます。

追肥・土寄せ

本葉が2〜3枚の時1回目、本葉が5〜6枚の時2回目、また7月ごろに3回目の追肥をします。追肥は株の周りに与え、追肥をしたら土寄せをしましょう。

また、7月ごろになるとサトイモ

が肥大し始めるので、乾燥を防ぐためワラや腐葉土を敷いて水をこまめに与えましょう。

収穫

10月中旬〜11月上旬くらいになったら収穫できます。葉を根際で切り取り、傷つけないようにサトイモの位置を確認してから、親イモに子イモをつけたまま、スコップで掘り起こし収穫します。収穫は遅くとも霜が降る前には掘るようにしましょう。



★ワンポイント★

サトイモは、高温多湿を好み、乾燥を苦手としますので乾燥を防ぐため、ワラや腐葉土を敷いてこまめに水を与えましょう。

また、種イモは直接植え付けることも出来ますが、芽出して植え付けることで、発芽が早くそろった生育が出来ます

平成25年産米の県域共同計算結果について

代表銘柄上位等級の販売代金、流通経費、概算金、差引精算額を各項目別に表記致しております。その他銘柄等級は最終販売金額を一覧表にて報告させていただきます。生産者の皆様におかれましては、ご理解いただきますようお願い致します。

これからも共同計算にかかるコストの低減に取り組み、委託いただきました米穀の有利販売に努めてまいりますので、平成27年産米穀のJAへの出荷をお願い致します。

施設販売課

平成25年産 JA米 コシヒカリ1等 (単位: 円/60kg 税込)

区分	項目	金額
収入	販売代金	15,031
収入合計①		15,031
支出	流通・保管等に関する経費	
	概算払金等金利	67
	保管料・入出庫料	277
	保険料・監査委員会費用	1
	運賃	293
	安心・安全等検査費用	6
	集約保管経費	189
	精算・集荷・販売にかかる経費	
	広告宣伝経費	70
	その他(低温保管対策費・CE個別詰め対策費等)	143
	その他経費	
	需給調整経費	289
	県産米推進協議会等経費	3
	その他	161
検査経費	76	
手数料		
全農手数料	212	
JA手数料	454	
支出合計②		2,241
支払済概算金③		12,300
施設販売課販売努力④		135
差引精算額⑤=①-②-③+④		625
最終手取金額⑥=③+⑤		12,925

平成25年産米 個体・施設銘柄等級一覧 (単位: 円/60kg 税込)

1. うるち米	品種	等級	JA米	一般米
コシヒカリ	通常米	1等	12,925	-
	通常米	2等	12,321	11,834
	通常米	3等	11,101	-
	通常米	1等	11,769	11,147
	通常米	2等	11,129	10,517
	通常米	3等	9,782	-
日本晴	通常米	1等	11,392	10,993
	通常米	2等	10,771	-
	通常米	3等	9,695	-
秋の詩	通常米	1等	11,471	-
	通常米	2等	11,042	-
みずかがみ	通常米	1等	11,523	-
	通常米	2等	10,038	-
ミルクQueen	通常米	1等	9,012	-
	通常米	2等	8,383	-
その他うるち	通常米	1等	9,012	-
	通常米	2等	8,383	-
2. もち米	品種	等級	JA米	一般米
滋賀羽二重糯	通常米	2等	14,827	-
	通常米	3等	13,761	-
3. 施設	品種	等級	JA米	一般米
コシヒカリ	通常米	-	12,868	-
	通常米	-	11,457	-
日本晴	通常米	-	11,398	-
	通常米	-	11,534	-